

2003年 四季 折々 Mutsu

1.

2003.1月 From M. Nakanishi 2003.1.1.



A Happy New Year & Merry Christmas !!

「純白の富士」に託して 未年を翔る
変革の時代 今年は何り年
「スピードに負けず 生き活きと」を心がけてたく思っています



2002.12.23. 足柄 金時山 乙女峠より

皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます

本年も宜しくお願いいいたします

平成 15年 元旦

M. Nakanishi



1.1. Merry Christmas !! 2002年 柏でのクリスマス

Merry Christmas !!



from M. Nakanishi



from my sun , Kensuke

柏で迎える4回目のクリスマス 暖かいクリスマス。イブを教会ですごしました
戦争・貧困・地球環境・不景気 もう一人ではどうにも出来ない課題
みんなが お互いの立場で支えあわねばならぬ時代 自己を乗り越えて 行動を起こさねば・・・と感じています。

信心あるなしに関わらず 「神ともにいまして」

相互の「理解・融和」で「平和」の時代到来が実感できるよう



1.2. 白雪をいただく富士山 - 足柄 金時山 ハイク -



12月23日 富士山が見たくなって 富士山が最も美しく見えるポイント 「まさかり 担いだ 金太郎・・・」の足柄 金時山に出かけました。

大きく左右に裾野を広げ 天空に白銀の頂上を突き上げ 堂々と大地に立つ富士山 神々しくも 頼もしくも みえました。

金時山は霧氷がキラキラ 山はもう どこも白銀の世界 久しぶりに 雪のハイクを楽しみました

『 白銀に 平和を託す 富士の峰 』



1.3. 古代から使われた「鉄さび」赤色顔料「ベンガラ」

ベンガラの街 岡山県吹屋

- ベンガラが作り上げた日本伝統の技術 これも和鉄の道 -



街でふっと見かけた雑誌に先輩が書かれた『中国山地の奥深い山里 ベンガラの街「吹屋」とベンガラの不思議。』

鉄さびがかもし出す落ち着いた赤。縄文の昔から日本の文化を育ててきた赤。日本の漆と組み合わせられ また陶磁器に画かれた赤絵。日本から世界へ出て行った鉄の技術 これも和鉄の道。

今 このベンガラが脚光を浴びています。

随分 前になりますが、昔行った山郷 ベンガラの街 岡山県吹屋を思い出しながら ベンガラの赤に思いをはせました。

2.

2003. 2 月 From M. Nakanishi 2003.2.1.

寒牡丹 と 北茨城 氷瀑 袋田の滝・五浦海岸



寒牡丹 筑波牡丹園で 2003.1.26.



氷瀑? 袋田の滝 2003.1.25.



近代日本画の郷

北茨城 五浦海岸 2003.1.25.

ばたばたしている間に2月

巷では インフルエンザが猛威をふるっています。ご注意ください。

世相は不安定な何が起こっても不思議でない状況。早く落ち着きのある時代を願っているのですが……………

2.1. 霞ヶ関の東京地裁 倒産・破産に関わる債権者会議

先日 霞ヶ関の東京地裁 倒産・破産に関わる債権者会議なるものに初めていきました。

少額なのですが、私の会社も貸倒れ債権あったものですから・・・

裁判官と管財人を真中に債権者と破産申立て人とが相対して開かれる債権者会議なるもの初めて体験しましたが頭抱えます。

地裁の少額債権者会議のために会議室を仕切って 4,5ヶ所で会議が行われており、それを眺めながら 自分達の順番待っているのですが、世相を反映して実に多いのにビックリ。

会社関係の倒産と言えども ほとんど個人保証がついているのでしょうか、観察していると会社・本人と一緒に奥さんも破産人になっているケースがほとんど。

みんなの前に夫婦で破産者として相対しているケースがほとんど。

この長引く不況 家族ぐるみにならざるを得ないのでしょうか。

本当に私のところがかかわったケースも含め、責めるよりも 「早く立ち直って欲しい」 と願わずには居れない気持ちでした。

なんか 銀行等の公的資金投入 大企業の債権免除など聞くと判ってはいても 頭に来ますね。

私企業の論理脱して 早く立ち直って 景気・一般庶民 引っ張れ と言いたくなります。

だまかし商法・弱いものいじめの強食商法もしかり。

見ていると 始めは良くて あと やっぱりつまずいている・・・・・・

「5年でおおきくなったやつは 5年で潰れる」 やっぱり こすい事考えず 地道に しっかりやるのが一番 自分のマニュアル大事にするのが 一番と思います。

そんな事を地裁の席に座りながら 見ていました。

それにしても 管財人がまとめた破産人財産 まず 国が全部取って その残り 残っていれば民間に分けるのがルール

そんなのありか・・・・とちょっとでも欲しい今の立場では言いたいのですが・・・・

まずは百年の計・大局の智恵か・・・

2003.1.9. 霞ヶ関 地裁で Mutsu

2.2. 冬の北茨城 五浦海岸を訪ねて

今 家内が柏に来ています。

週末 レンタカーを借りて 北茨城 WALK

氷結した袋田の滝へ 袋田の滝は今年も氷結せず、50%程度。

でもやっぱり 真っ白になった滝はきれいでした。

近代日本画の父 岡倉天心記念館がある北茨城 五浦海岸にいつてきました。

松と白砂 本当に日本画の素晴らしい景色 その海岸で思いもかけず 砂鉄の堆積に出会えました。

今 北茨城では 冬の味覚「あんこう鍋」の季節

五浦海岸のつけ根 大津漁港の街の料理屋に飛び込み 本場の「あんこう鍋」を楽しみました。

最近「あんこう鍋」と言っても 色々都会風に味付けが変わっている事多いのですが、味噌仕立てであんきもを大量に摺込んだ漁師街本場の味 やっぱり 本場は違うと感じました。



北茨城 五浦海岸 2003.1.25.

茨城県と福島県の境 勿来の関から南側の五浦海岸は 高い崖とその下に狭い砂浜が広がる風光明媚な海岸で、岡倉天津が日本美術院の分室を置いて横山大観や菱田春草などが日本画の製作に励んだところ。何度となく通ったことはあるのですが、行った事なし。本当に「日本画に見る景色」そのもの。太平洋の荒波が打ち寄せ 崖を削っている風景は銚子から飯岡にかけての九十九里浜によく似た光景。そこには必ず 砂鉄の堆積があるはずと海岸に下りると波打ち際には 黒い砂鉄が美しい文様を描き、その奥の海岸には厚さ 10cm を越える砂鉄の層が 広がっていました。

予想もしなかった砂鉄の浜が五浦海岸に広がっていました。また、この海岸はかつて「鳴き砂」の浜だったという。崖が太平洋の荒波で崩され、波にもまれ 磨かれた細かい白砂や砂鉄が浜に打ち寄せられ、寄せては返す波と風により 美しい文様と砂鉄の堆積を作った。



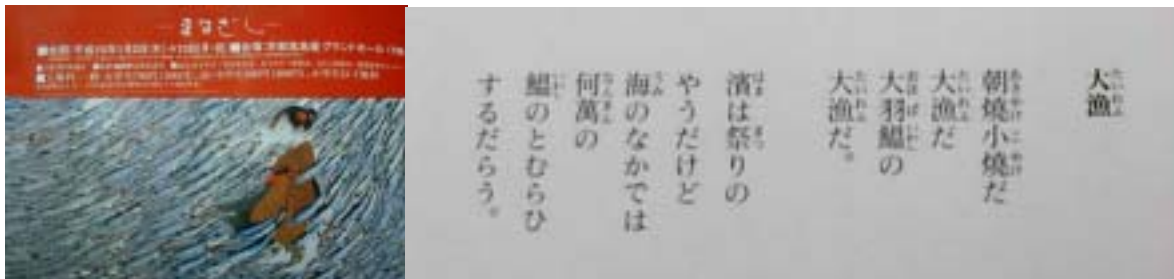
五浦海岸砂鉄の堆積した浜 2003.1.25.

鹿島灘に面した鹿島・波崎の海岸を一番南に この北茨城五浦海岸 そして 福島県原町の海岸等 太平洋の荒波が崖を削るこの茨城・福島県の海岸には古代から大量の砂鉄が堆積。また この海岸から少し山へ入った置く久慈から常磐にかけては 金山など古代からの鉱物資源の地であり、産鉄の民が開いた地と言われている。

また、北茨城の北 福島県原町周辺には行方なたたら製鉄遺跡群があり、蝦夷と対抗した大和政権の兵器庫と見られているそんなことを考えると 古代 大和政権が蝦夷・東北征伐の原動力として この常陸国の海岸に堆積した大量の砂鉄を原料にしたたたら製鉄がポイントになったと考えられないだろうか・・・。

2.3. 中島潔 童画展 「金子みすず -まなざし-」 を見る

山口県長門 仙崎 不遇の詩人 金子みすず 2003.1.4. 京都にて



山口県長門市仙崎の不遇の詩人 金子みすず 知っていますか・・・・・・・・・・

1.4. 京都の高島屋で 中島潔の童画展「金子みすず -まなざし-」をやっているのを知って行って来ました。仙崎は長門市から青島島に渡る本州側の漁港。昔は随分にぎわったのですが、今はひっそり。

でも 山陰地方有数の漁港で美祢にいる時には「ふぐ」や「いか」「メジナ」「はまち」そして「うに」や「さ

ざえ」など 仙崎に水揚げされた魚を楽しみにしていました。

そんな 明治の漁師街で生まれ育った金子みすずの詩。どことなく物悲しくやさしさがしみじみとでてい

る詩 最近では 金子みすず ブームとかで 随分有名になりました。好きで 金子みすずの詩集を持っています。中島潔氏の童画も NHK BS のカバーに使われ、そのゆったりした暖かさで好き。



今回の童画展「金子みすず -まなざし-」は金子みすず の詩に中島潔氏が童画を配した展覧会 本当によくマッチしてステキでした。

数多くの童画・詩の中で 金子みすず が詩集を出し終えた時の気持ちを歌った詩が僕には何か非常に新鮮に映りました。

毎月 インターネットのホームページ更新で書きつらねてきた4年間のページ 更新30数回分を本に整理まとめているのですが、読み返すと好きな事ばかり書いているのですが、いろんな事がリアルに目に浮かんできます。 やっと正月休みに整理して形を整えた時でもあり、老兵の気持ちとがいっしょになって 余計に金子みすず の心境が胸にグッときました。

2003.1.4.京都にて Mutsu

2.4. 暖かい日曜日 Tea Time 2003.1.26.

筑波 牡丹園で



静かな林の中 ひとつひとつ わら帽子をかぶせてもらって 女王の品格と美しさ
大輪の冬牡丹 豪華で あでやか

日本の葡萄酒 発祥の地 牛久 神谷シャト - で



ナルミ ポンチャイナ の ティーカップ にも出会って ステキな午後のひとときでした

No War !! War is not the Answer !!

米英によるイラク戦争が始まった。日本もそれを支持するという。

和解と避ける努力あれば さけられた戦争。

たとえ その日ぐらしでも 日1日繰り延べれば繰り延べられた戦争

何がそう 駆り立てるのか

戦争によっては何一つ解決しない事は誰も知っていて それでも 戦争に訴える。

大国の正義のまやかし 他国を戦車で蹂躞する事のいいわけとそのつけの大きさ

ひとときは良くても 絶対に払わねばならぬ 人類の代償の大きさ

いまだに learn 出来ない大国の論理

1日もはやく 戦争をストップしてほしい



神戸聖ヨハネ教会

礼拝堂の鷲のステンドグラス

鷲はヨハネのシンボル

このステンドグラスには

ET VERBUM CARO FACTUM EST

(そして言葉は肉体となった)

と刻まれている

「最初にことばがあった ことばは肉となった」 聖書ヨハネの福音書の最初の言葉である。

人類の財産がこの「言葉・会話」にもとづく相互理解でなかったのか・・・

これにより乗り越えられぬものはない

空しくても 「No War !! War is not the Answer !! 」

早くストップしてほしい 訴えずにはおれない 無意識の中からの叫びである

2003.3.29. M. Nakanishi

3.1. 2003 春 花便り



2003.3.31. 神戸自宅にて

2月 3月と花粉症で本当に苦しみました。花便りが聞かれるにつれ、なんとか良くなってきました。

まだ まだ すっきりとは行きませんが・・・。

久しぶりに神戸へ帰ると「イカナゴの釘煮」の季節 家内が眼の色変えて せっせとやっていました。自宅の草花も春を告げています昨年はもっと華やかだったと思ったのですが・・・・・・・・。

6月末で 関東での仕事を終え単身赴任の生活も切りあげ、関西で新しい第二の生活に入る事になりました。まだ 第二の生活設計ができてはいるわけではありませんが、そこは 風来坊 当分はフウテンノトラ。「技術屋として随分 好きな事もさせてもらったし、団塊世代から若い人への時代への激動の時代 ぼくらでは到底乗り切れまい。 潮時か・・・・・・・・」と。

あれもしたい これもしたい さしずめ自動車学校 そして 何度もさそってもらった関西の縄文の会 kinka41 神戸の会 。壮年の日曜日のぐちりと飲み会も・・・

アメリカの息子のところやペナンにも行きたいし アフリカにも いよいよ ゴビ砂漠のツアーも計画せなあかんなあ・・・と。山口の家にもゆっくりと行けそう 孫とも ユックリ遊びたいし。

7月まで カウントダウン 開始 あれや これや 楽しみにしています。

ほんと また神戸で お世話になりますが よろしく

2003.3.21. 神戸にて 家内と色々話しながら

3.2. 奥羽山脈を越へ 蝦夷 和鉄の里 出羽・横手（金沢柵）・秋田（秋田柵）をたずねる



和賀（北上市）から奥羽山脈仙人峠

「12000円でJR 東日本 週末2日間 新幹線・全線乗り放題」の最終週。もう 行けなくなるとの脅迫観念にもかられて、朝一番の新幹線に飛び乗って 奥羽山脈の山間地を越えて秋田まで行ってきました。

岩手と並ぶ鉱物資源国 秋田。今は秋田大学工学資源学部というのですが、その付属鉱業博物館 金属材料を志す者としては 是非行きたかった場所。

また 蝦夷の前線基地北上川流域の「胆沢」そして「和賀」 そこから奥羽山脈を越えて出羽・秋田へ。

奥羽山脈を越えた西側 出羽から日本海の秋田・能代は北上川流域と並ぶ産鉄を武力に戦った蝦夷の本拠地。古代大和政権は国力が増すにつれ、この蝦夷の優秀な和鉄支配をねらっての蝦夷征伐。

阿倍比羅夫が日本海側から攻めた出羽・秋田。そして その後、坂上田村麻呂が攻めた蝦夷最大の攻防戦。

蝦夷の総大将が胆沢・和賀の北上川流域のアテルイ。

結局 古代都の政権は最後まで「蝦夷」を征伐で

きず、蝦夷が完全に中央政権に組み入れられるのは 鎌倉時代 平泉の藤原政権が滅亡してからである。



金沢柵の置かれた横手市



蝦夷の和賀鉄 仙人峠



奥羽山脈を抜けた秋田平野（大曲）はまだ雪の中



秋田大鉱業博物館



秋田城遺跡



古代製鉄遺跡群の眠る秋田の丘陵地

この中央が手を焼いた「蝦夷」の力の源泉は産鉄と金に代表される鉱物資源。

奥羽山脈の両側 岩手と出羽・陸奥から出る鉄とその製錬・加工技術。

阿部比羅夫や坂上田村麻呂の蝦夷征伐など中央の勢力は鉄を求めて北へ北へとその勢力圏をひろげていったが、直接支配せず 恭順を示したその地方の蝦夷・豪族を通じて支配（俘囚）。

この奥羽の俘囚・工人がその後 日本各地の鉄生産を担い、また日本刀に代表される鉄鍛冶を担って行く。

ついでながら 蝦夷のリーダー胆沢のアテルイ 和賀のルイ亡き後 俘囚長として蝦夷を束ねた陸奥（北上川流域）の安部氏 そしてそれを倒して俘囚長になった出羽の清原氏 そして その跡を継いだ平泉の藤原氏。 それぞれが中央政権と結びながら、蝦夷の鉄・鉱物資源の覇権を争った。

北上川流域から奥羽山脈越えの出羽・秋田・陸奥への道筋は古代鉄の覇権をかけた「和鉄の道」



北上川流域の陸奥から出羽・秋田へ



佐藤清忠氏 「ヒタカミの鬼」 に描かれた蝦夷の世界 (hitakami fantasy : <http://www.michinoku.ne.jp/~satok/>)
是非 関東にいる間にこの奥羽山脈を越えの蝦夷 和鉄の里 出羽・横手 (金沢柵) 秋田 (秋田柵) を
たずねたいと

3.15. 奥羽山中は まだ雪の中。

直接新幹線で盛岡から秋田へ向う田沢湖・秋田駒越えの道も

北上から焼石岳と和賀岳の間仙人峠越えの出羽横手・秋田への道も

また 3.16. 福島から吾妻山と栗駒山の間を米沢へ抜け 山形へ抜ける道も

どれも 豪雪の山間を鉄路が延びている。すごい山越えの鉄路。

逆方向から通ったのですが、北上 (和賀) から横手 (出羽) への仙人峠の道は古代蝦夷の鉄の生産基地 古
代の Iron Road。トンネル連続のすごい山間の鉄路を目凝らして眺めてきました。

雪の中を越える奥羽山脈 奥州のすごさが余計によく判りました。

そして その山間を越えて平野部に出るとそこは別天地の明るい里。

ほんと 蝦夷の根拠地 山脈の持つ意味というか すごさを改めて感じました。

ゆっくり まとめて また 報告します。

home page 「Iron Road 和鉄の道」1999-2002 年版 編集整理

出来ました 出来ました

M.Nakanishi home page 「和鉄の道」

1999-2002 を本に整理しました。

「和鉄の道」「四季折々 Mutsu」「風来坊
Country Walk」の三つに分けて整理。



約 1 年間かかりましたが、関東単身赴任を機に
毎月意識的に更新してきた home page の
記録。

読み返してみると 毎月 ボヤキどおしの感

また 風来坊で出かけた日本各地での出会い。

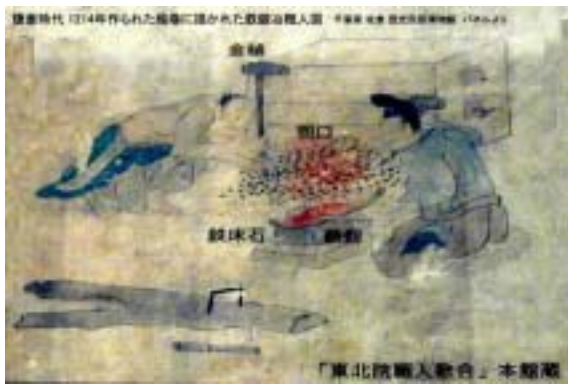
そして ほとんどインターネットに「たたら・和鉄」がなかった時から始めた たたら探訪。

今では考えられないような多くの記事が掲載されるようになりました。

材料技術屋のきまぐれで始めたホームページ ですが 全部まとめると それなりにおもしろいものになっ
たと自画自賛しています

インターネットにも acrobat pdf file にして掲載。 今までのホームページ ポリウムもおおきくなり
ましたので、順次クローズしてゆこうとおもっています。

2003.4.5. M. Nakanishi



イラク 戦争の状況は終わったものの
 これからは失ったものの代償が 押し掛かってくる 厳しい時代
 4月20日 イースター 復活日
 「キリストの生と死の二重性 その復活希望の中に今を生きる自分を見よ」

とのイースターメッセージ (長谷川司祭 神戸聖ヨハネ教会にて)

先が見えぬ中 一人一人が行動を問われる時代
 大義の前に弱者の声がかき消され
 強者の論理が巾をきかせている中 その代償は払い切れるのか

「変えられぬものを受け入れる心の静けさと
 変えられるものを変える勇気と その両者を見分ける英知を」

効率からやさしさへ 一人一人の尊厳が大事にされる時代へ
 世代・国際社会を超えた合意が はやく取れる時代になれば・・・

2003. 4.20. M. Nakanishi

風 かおる5月 さわやかな季節となりました。

樹々は柔らかな新緑に萌え 「風 ひかる」 空気のおいしさが体現できる山の季節到来。

うずうずしています。

中国 北京・上海 香港 シンガポール トロント そして ペナンでも 新型ビールスによる肺炎が猛威を振るっていると聞きました。

心配していますが いかがでしょうか お見舞いもうしあげます

5月は花の季節 さわやかな 風と共に みんな 一度に飛んでしまうといいのですが・・・

4.1. 「風 かおる 5月」 野山は芽吹き 新緑の素晴らしい季節

桜が終わって 野山は芽吹き 新緑の素晴らしい季節。

今年も神戸の家の庭は今春の花でいっぱい。

先週末 滋賀県日野 鈴鹿山脈の麓 鎌掛谷の「ホンシャクナゲの群落」を見てきました。
また、京都 修学院の曼殊院ではミヤマキリシマが真っ赤な花をつけていました。



天然記念物 ホンシャクナゲの群生地 滋賀県 日野町 鎌掛谷 2003.5.27.



京都 左京区一乗寺 曼殊院のミヤマキリシマ 2003.4.29.



神戸 自宅の庭で 2003.4.28.

芽吹き of 柔らかな緑の山肌 いっぱいに淡いピンクの純朴な大輪を咲かす「石楠花」は野山にハイク・登山シーズン到来を告げる花。

本当に楽しい季節になりました。

関東での单身生活ももうわずか・・・。

仕事の方はそろそろ整理に入りますが、特に今は感慨なし。

柏にいる間に段取りつけて 新潟や東北への walking しようと思っています。

2003.5.1. by M. Nakanishi

4.2. 気のむくままに 年寄のボヤキ

1. むかしばなし

4月 送られてきた某学会誌に大学の先生の技術レビューがあり、その先生の業績と共に私の25年前の論文も他の人の論文と共に引かれ、丁寧にレビューされているのを読みました。

「ルーツは?? 視点は何か 不思議やなあ・・・」

この「好奇心」と「見たり 聞いたり 試したり」が私のエンジン
もう すっかり技術的にはリバイスされたものと思っていましたが、レビューされていること有難く、今も現役の中にいるような気になってうれしくなっていました。

諸先輩に助けをもらいながら 取組んだ技術開発。

また エレクトロニクス・セラミックスの材料開発で見た若い人達のはつらつとした開発等 今も懐かしく思い出しています。

2 最近の思考判断の強引さについて

最近インターネットで配信されてきた記事に「グループで決める」事の意味の理解についてふれたものあり。

「みんなで決める 多数決で決める」この問題が指摘されていた。

『決めなくてはならぬことがあって 候補が三つあったとする。

三つを決取るのはまともらぬので、まず二つから決をとり

それと残りを話し合えば決めやすく 民主的 』

でも これは間違いだと。

多数決でも同じで 議長が恣意的に通したい候補を最後に回せば 最後に戦わずだけで思いがかなう。

また 合議ならば 文殊の知恵 最高のパフォーマンスが得られるか????

グループで問題を解いた時は 平均的な水準より上に行くが 話し合いは共有されている情報に終始しがちであり、最良のメンバーが持っている情報は個人の中に埋もれ 最良のメンバーほどの成績はあげられない。

最良のメンバーのもつ埋もれた情報をどのように引き出すか・・・非常に難しい。

そんな「民主的な意思決定」に立ち至った時 民主主義とは 「やり直しのチャンスを残した実験」という言葉に出会ったという。

マーケティング情報誌 小橋昭彦 今日の雑学 より

仕事に精通している人でのみの合議・身内的な議論が珍重される合議の危なっかしさはすでに経験済。

私などでは最良のメンバーの提起も難しいし、 もっと オープンな人選が・・・

また 別の「思い込みの歴史」の記事で小橋昭彦氏は網野氏の著書を例に引いて 「思い込み」が意思決定にどれほど影響を与えているかを認識すべきであると述べている。

網野氏はその著書で、

三内丸山遺跡の豊かな樹木文化にであったことで意識して資料を読み返すとそれ迄少ないとされてきた山野に関する資料が不思議に集まってきたと・・・。

「歴史を読む時に問われるのは過去ではなく 今を生きる自分たちの視点が重要だ」と

この二つの記事から 日頃よく口にする「視点は何か・・・」の重要性を改めて感じた次第。

意思判断に対して 考え方の多様性を視点の観点から吟味することと意思判断の手続きを「やり直しのチャンスを残した実験」と考えれば気持ちも軽しである。

3 年寄のボヤキ



東京 汐留の新しいビル群 2003.4.11



東京では新しい地域再開発ビルが続々と完成。

六本木 汐留 品川ほか 次々と新しいビル群が完成。

IT 情報社会に対応した新しい街が新しい変革を成し遂げて社会をリードしてゆくともてはやされている。

でも 取残されたところには「2003年問題」が起これとも不安視されている。

柏でも 常磐新線の工事が急ピッチ。 ついに車輪の数 26 のトレーラに載せられた橋脚が次々と大型のクレーンに吊り下げられ高架が完成しつつあり。

新しい時代に新しい器 でもそこに住むのは旧の人 ソフトなしでは社会は廻らず。

一時 もてはやされた 説明責任とオープンなリーダーシップ。

そして 福祉・やさしさの時代

どこかに吹っ飛んで ベールに包まれたわけのわからぬ方向へ

なにか むなしさ と 物足りなさが付きまとう。

もう一度 思考のリング しっかり コンセンサスとって 構築する時ではないだろうか・・・・

それとも この新しいビル群 IT 情報がそれをふきとばしてくれるとでもいうのでしょうか・・・・

またまた 年寄りのぼやきです

2003. 5.1. 柏にて Mutsu Nakanishi

4.3. 奥州 蝦夷の心臓部を貫く和鉄の道 2003.15.

-北上(和賀)仙人峠越-

3月 秋田を訪ねた帰りに 横手から北上線に乗って雪の奥羽山脈 和賀仙人峠を越えました。

出羽と陸奥を結ぶ道の険しさを現実に見てみると 私たち関西人には北上川流域の東北新幹線沿いが東北の中央に思える。しかし、東北人にとっては「古代より越から続く日本海側の出羽・秋田・津軽が中央ではなかったか・・・」

奥羽山脈の険しさと豊富な鉱物資源とが それを支えたのであろう。

横手の街の店々に張られていた蝦夷のリーダー「アテルイ」

の映画の鑑賞会の張り紙がそれを今も主張しているのでないか・・・・



北上市(和賀)より 和賀川越しに奥羽山脈 仙人峠を望む 2003.3.15.

4.4. 桜散策 Walk 東京・千葉界限 2003.4月 2003.4.12.

東京 千鳥が淵 ・谷中から上野・千葉佐倉

4月 家内も柏にやってきて 一緒に東京の桜見物

また 千葉佐倉にも行って 今年も素晴らしい桜を楽しみました



東京 千鳥ヶ淵



東京 北の丸公園



千葉県佐倉 川村美術館

4.5. 鎌掛(かいがけ) 石楠花谷 walk 2003.4.28.

天然記念物 ホンシャクナゲの群落 滋賀県 日野町

芽吹き of 柔らかな緑の山肌いっばいに淡いピンクの純朴な大輪を咲かす「石楠花」は野山にハイク・登山シーズン到来を告げる花。

本当に楽しい季節になりました。

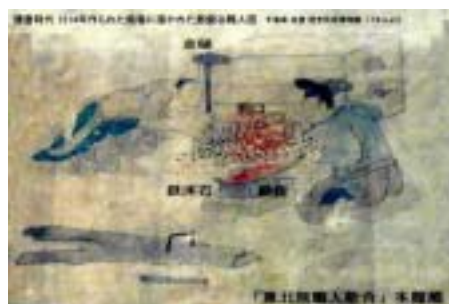


5.

2003. 6月 From M. Nakanishi 2003.6.1.



バラの季節 神戸自宅にて



中世の鉄鍛冶職人図



山口 秋吉台 2003.5.4.

6月 梅雨のぐづついた季節に入りました。関東での生活もあと一ヶ月秒読みにはいりました。関東での生活もあと一ヶ月。仕残した事など整理しながら相変わらず、せっせと walking しています。



バラの花 満開の季節 神戸自宅にて 2003.5.19.

神戸の自宅のバラも今年やっと沢山の花をつけました。

毎日雨模様のうっとおしい季節ですが、八千代市の京成バラ園へ出かけて ちょっと知恵もついて、柏の街のあちこちの生垣に咲くバラの花を楽しんでいます。

世の中 腑に落ちないこと横行していますが、なにわともあれ、「前向いて 日々正直に」です。

2003.6.1. 柏にて Mutsu Nakanishi

5.1. バラ満開の季節 八千代市緑ヶ丘 京成バラ園



5.2. 5月の連休 山口へ

5月の連休に山口へ草抜きに帰ってきました。春の秋吉台を歩き、山口吉敷萩焼の田中先生宅を訪ねました。作品がはいった状態の窯を初めて見せてもらいました。

僕の熱処理屋のイメージと萩焼の乾燥加熱の操炉論議がかみ合ったのにもビックリでした。

また、わざわざ柏まで訪ねてくれた吉敷のk氏宅もすぐ近く 久しぶりに昔話に花を咲かせてきました。



春の秋吉台 カルスト台地 剣山より 2003.5.4.

春の秋吉台 あんなにすり鉢状のカルスト地形が連なっていたなんて初めての発見。

神戸への帰りに 白壁の街「柳井や本四架橋のさきがけモデル橋となった「大島大橋」にも寄ってかつての仕事思い出して訪ねてきました。新緑の山口 リフレッシュです。



山口県瀬戸内東部 白壁の街「柳井」と本四橋のモデル橋「大島大橋」 2003.5.5.

白壁の街「柳井」から 本四架橋のモデル 大島大橋・由宇温泉へ 2003.5.5.



山口から神戸への帰りに「由宇 ゆう」の名前に惹かれて「由宇温泉」へ寄ろうと家内が言う。また、友達と縁のある「柳井」の街へも行ってみたいと。

「柳井」から海岸沿いを走ればすぐ大島大橋 流れの速い瀬戸の橋脚として本四架橋の多柱基礎が試されたモデル橋。そして 由宇はそこから山の中へ少し入ったところ。山陽自動車道 那珂 IC の近く。家内の興味とぼくの興味と会うのはほんとまたとないチャンス。少し美祢を早く出て、山口県の東部瀬戸内を周ってかえりました。

5.3. 福島県 土湯峠「赤湯」温泉を訪ねて 2003.5.25.



「鉄」ゆかりの地名が並ぶ 福島県 安達太良連峰 土湯峠周辺 と 土湯峠 赤湯温泉 2003.5.25.

5月25日 やっと晴れそう 調子の悪かった風邪もなんとか収まって、歩きたくてウズウズ。気になっていた福島県土湯峠「赤湯」温泉にも出かけてきました。

安達太良連峰と吾妻連峰の境にある土湯峠 そのすぐ下の谷間の秘境に鉄分を含んだ真っ赤な湯の「赤湯温泉」がひっそりと建っています。

すぐ眼前にそびえる安達太良連峰へは鬼面山・鉄山から安達太良本峰へと縦走路が続いています。

そして鬼面山の向こう鉄山の下には「くろがね温泉・くろがね小屋」。

赤湯・鬼・鉄山とそろっては もう「鉄」ゆかりの地に違いなし。

いろんなイメージを膨らませて、是非とも行きたい場所でした。

5.4. 「構造改革論」と「景気浮揚対策論」に日本人思考の二面性を重ねて

景気はあいかわらず。 政府・金融政策も どの話が正論なのか 全く判らず。

5.19. 銀行にまたもや公的資金投入を報じている。 倒産予防措置という。 なにか 割り切れず。 銀行が潰れたたわけではないから リーダーに責任はない・・・と。 予防措置に責任はないと・・・。

それなら 次々 ただの金注込めば もう潰れる銀行はなく 銀行にとってはハッピーな資本増強。

今までのビジネス履歴がおかしかったから 資金注入必要になったのでは?????

おかしくした連中が 頭の切り替えもせず 良くなるだけでも 言うのか・・・判らぬ論議である。

家計もそないしてほしいものです。 でも 他人を当てにせず 頑張らねば・・・。

誰が その付けを払うのか・・・

もう みんな 十分 低金利で付けを払わされていると思うのですが・・・

「貯金王国 日本」といわれて 久しいですが、どうも この「日本の個人貯蓄」も もう数年で米国・西欧と逆転するらしい。 「銀行残って 個人は借金生活」の現実が近づいているという。

考えるのか怖くなる。

「構造改革論」と「景気浮揚対策論」

「要は一步でも改善できる道であれば やるのが筋 批判していても始まらず」と。

政府サイドも政策転換を求めるサイドも言っていることはおなじ。

どっちが本当に改善の道なのか???? 誤った方向ならば 早く改善の道に戻さねば・・・

「今までも 要素多くて 結果で`ず。 これでも良くなった方?????? やってみなければ 判らない。」

と

もう 心地よい言葉だけでは どうにもならず。 個人の生活が脅かされ始めている。

どうでもいいから 早く 期限を切って 具体的な論証を見せよ・・・と実感がほしい。

一面的な対策は限界・・・そろそろ 検証にはいらないと・・・

どうも 自分たちのルールだけで 物事を行うことが世の中に氾濫。

自分が納得したって仕方ないだろう。

一時 説明責任の言葉が流行ったが、正面きってのオープンな説明責任は果たされていないのでは・・・

日本人の二面性 「たてまえ と本音」「論理と感情」

どうも このことをよく承知している人達が

「たてまえ」論には「本音」論 「論理」には「感情」論のすり替え

それぞれ 相手の対極論でやり返し、全くのすり替え術が 議論として また 説明責任をはたしたと・・・

そんな風に見えてならない。

おなじ論理が「信頼」と「安心」という社会構造にも見えるという

「人を信頼して行動するか」 それとも 「みんなでつれ持て・・・その方が安心 村八分がこわい 」 という日本に対し、欧米人にはキリスト教の影響で「神の前ではうそはつけない 神に裁かれる」の意識が強く、個人の信頼の意識を強するという。

いま 日本の社会構造が変革しつつある。

どこに自分は身をおくのか・・・一筋縄では行かぬ時代

日本人の二面性を利用したはぐらかし論議とサロンの内輪だけの正当性

わからないだけにカッコええと写る

政治も 社会も ビジネスも なにか 本当に狭い日本になってゆくような気がしてならない。



福島県 沼原(ぬまっばら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原 2003.6.28.

鉄鋼会社で溶接の技術屋としてスタート切った「ぬまっばら」水圧鉄管(ペンストック)用高溶接性 80 キ口高張力鋼板の実用化開発。今 那須連峰の南懐 沼原揚水発電所上池「沼原貯水池」の横 沼原湿原にはニッコウキスゲが満開

7 月 うっとおしい梅雨が続いています。いかがでしょうか・・・・・・・・

6 月 30 日 関東での 4 年間の生活を終え、神戸に帰ってきました。

材料技術屋としての 40 年の会社生活も一応終止符 フリーになりました。

本当に色々お世話になりましたが、今後ともよろしくおねがいします。

2003. 7. 1. Mutsu Nakanishi

昭和 43 年 鉄鋼会社に入社。折りしも高度成長の時代 厚板・ラインパイプの接合技術と溶接性の良い鋼材・溶接材料の開発に明け暮れた 20 年。その後、材料の多角化・新材料を求め、粉末材料・新素材の開発に夢を託し、さらに エレクトロニクス・コンピュータの時代到来と共に、世界の半導体メーカーと一緒にマイクロエレクトロニクスの機能材料開発・実用化を目指し、若い人達とアメリカ・東南アジアを走り回った 10 数年。そして、また古巣の溶接材料の技術開発に戻った 4 年。

その時代 時代の先端を切り開く技術開発をさせてもらった材料技術屋生活約 35 年。

本当に多くの人に支えてもらってハッピーでした。有難うございました。

単身赴任の生活もあわせると十数年。 海外出張も短期ですが百回を越え、独り身の自由で「風来坊」。色んな所で多くの仲間を得ていろんな経験もつませてもらいました。

現場で今物作りの荒廃が言われている時に 現場から去る後ろめたさは感じていますが、若い人の新しい感覚が新しい時代を切り開いてくれるでしょう。

まだ 先のことは何も考えていませんが、完全にリタイヤするまで一年残していますので、ゆっくり好きな事をやってみようと考えています。

神戸に帰っても 色んな事に興味を持って発信していこうと思っていますので、せび 面白い事あれば仲間に入れてください。

まだ 荷物も積み上げたままですが、会社生活とは違った意味の新しいフリーな生活始めました。

「これほしい。あれほしい。海外にも行きたい。・・・・」と思っていますが、風来坊。

今後ともよろしくお願いします。

また、神戸にも是非お越しください。 ご一報を

2003.7.13. 神戸にて Mutsu Nakanishi

6.1. 国立民族博物館 2003 特別展「西アフリカ おはなし村」

2003.7.23.-11.225. 万博公園 日本庭園前



今 風来坊で民族博物館の友達が立上げ、7月24日から始まる「西アフリカ おはなし村」展の手伝いをちょこっとしています。

多くのボランティアが「西アフリカのむかしばなし」の「語り部」として練習に 励んでおられるのを観る機会を得たのですが、そのバイタリティに感心。

また、教える友達 ゆわく

「語り部は 自分の言葉で 言葉を繰り返して
重ねることで 活き活きと調子も出てくる。

みんな人それぞれ 違うんだ。

言葉を 重ねて 重ねて

説明するのではなく 生の声をだして・・・ 」と。

冷静に無駄を省いて 論理的に・・・を

ベ-スの僕らの考えからは本当に異文化。面白いですよ。

でも ここから 生まれてくる個性的な語りの素晴らしさ すごいですよ・・・

「これからの時代の活力 これでないか」と感じています。



万博公園 日本庭園前 国立民族博物館 特別展示館

2003年7月24日(水) から 11月25日(火)まで <http://www.minpaku.ac.jp/>

吹田市 万博公園の国立民族博物館の特別展示館で開催。

機会あれば 是非一度ご来場を

雑文ですが、神戸に帰る前に出かけた 東北の「和鉄のふるさと」を中心に下記のとおり home page に付け加えました。

また、改訂が遅れたこともあり、8月は改定を休ませて戴きます。

6.2. 心残りだった東北 和鉄のふるさと walk

「北上 江釣子」・「砂鉄川」・「蔵王」

「あの高嶺 鬼住む誇り・・・ 北上市市民憲章」と歌う

東北 鉄の山 気にかかっていた「和鉄のさと」を歩いて -



北上市 江釣子古墳群・和賀川
岩手県 2003.6.14.

蔵王連峰 熊野岳とお釜
山形県 2003.6.15

砂鉄川・猯鼻溪
岩手県 2003.6.14

6.3. 那須連峰の南端 山懐に眠る沼原(ぬまっばら)湿原 walk

日本最初の大型揚水発電所建設の地



福島県 沼原(ぬまっばら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原 2003.6.28.

6.4. 弥生時代の開始が考えられてきたより、古くまでさかのぼれる

- 加速器質量分析法による C14 年代測定がもたらした課題 鉄器の大陸との交流史も見直しか????? -





冷夏と台風 天候不順の夏 お見舞い申し上げます

やっとひまわりが咲きそらい、「ひまわりの夏」が到来 でも もう 蝉の声
暑い夏がないままに過ぎようとしています、お元気でしょうか
神戸にもどって、約1.5ヶ月。

毎日会社通いの生活から、どうなるのか・・・とと思っていましたが、色々な仲間に声をかけていただき、
まあ 何とか 退屈もせず、元気に過ごしています。

神戸に帰ったら、「あれもこれも・・・」とと思っていましたが、まだ ほったらかし。

ご挨拶もせず ご無礼の段 お許してください。

「生活が替わる時は 一機」といいますが、ぼくの帰神と同時に 箕面にいた娘一家が札幌に転勤。

また、96歳で元気になっていた京都の義母も天寿をまっとう。
本当にさびしくなっ て がっかりです。

もっとも、風来坊の私にとってはまた 北海道や東北へ出かける
道が出来ました。

神戸の親しくしている中年仲間の一人江口氏が民博の先生で今
回の特別展「西アフリカ おはなし村」
の中心。ひょんな事から若い人たちの
中に入って 国立民族学博物館の
2003年特別展「西アフリカ おはなし
村」のスタッフ手伝いとして、せっせ
と吹田の国立民族学博物館通いで忙し
くしています。

時間の決った通勤時代と違って、歩く
道筋一つとっても色々なものが、新鮮。



7月24日オープンした国立民族学博物館「西アフリカ おはなし村」と
会場中心にそびえ立つ「バオバブの木」モニュメント

若い人達や西アフリカの新鮮なエネルギーに触れ、毎日がリフレッシュです。
 開館までは 展示設営と会場でのイベント等の連携でもう「てんてこ舞い」。
 僕にはこれといった役ないのですが、若いスタッフが走り回り、かつての見本市や welding show ・エレクトロニクスショー当時を思い出しながら、仲間たちの活気の中にいる自分に喜んでいきます。

「バオバブの木」って 知っていますか ??? 「バオバブ」アフリカの象徴 不思議な木です



民博特別展「西アフリカ おはなし村」オープン 2003.7.24. - 11.25.

「西アフリカ おはなし村」というのは カメルーンほかの西アフリカの草原に暮らすフルベ族 文字を持たないこのフルベの村を国立民族学博物館の特別展示館に再現。

生活の一部として語り継いできた「むかしばなし = 語り」や音楽を通して、この西アフリカの自由な昔話の世界を「語り合い、伝え合い 触れ合い」、大人も子供もみんないっしょになってこの村の暮らしを楽しむ素晴らしい空間。



絵本で読んだり、朗読で聞く「おはなし」と「語りで聞くお話」は全く別物。話が生き生きしててついつい引き込まれて行きます。「西アフリカの太鼓ジャンベ」に代表される「西アフリカのリズムと音楽」もすごい迫力。自分が一緒に合奏しているなんて信じられず。一度この民博『おはなし村』にも是非お出かけください。

オープンにあわせて パリからやってきた夫妻の案内やアフリカから「おはなし村」のスタッフとしてやってきた「村民」の人達の手続やら・・・結構大変でしたが、

7月24日から オープンしてやっと落ち着きました。

神戸に帰って1.5ヶ月。

民博通いの毎日でしたが、やっと 生活のペースもなれ、落ち着いてきましたので、9月にはアメリカにいる息子訪問を機会に家内とふたりでアメリカへ出かける予定。

北海道の娘の所やご無沙汰している美祢にも・・・
 ぐずぐずしている間にお盆も過ぎてしまいました。



京都五山の送り火 2003.8.16.夜

民博へ通っている間に、かつて大阪万博お祭り広場を覆った大屋根の一部がモニュメントとして残されているのを知りました。

日本の高度成長を支えた鉄鋼業。その記念すべき第一歩がこの大屋根。

ここはそう考えると「鉄の故郷か・・・」

そこに立って、ぼんやり当時を思い出しながら、「Iron Road」を意識していました。

そんなこんなでばたばたしている間にお盆も過ぎて、ホームページ改訂遅れていました。

『西アフリカ おはなし村』や万博記念公園 お祭り広場の大屋根 そして 京都の点描などをまとめてホームページに掲載しました。

毎度の事ながら雑文はかりですが、一度 暇な折でもアクセスください。

天候不順で 体調不良にならぬようご留意を

また、神戸に帰って 色々声を掛けていただいています、なんせ「風来坊」失礼してはいますがお許しを。

引き続きよろしく。また神戸にも是非お越しください。 ご一報を

2003.8.20. 神戸にて Mutsu Nakanishi

7.1. バオバブの木下で

国立民族学博物館特別展「西アフリカ おはなし村」オープン



バオバブの木って 知っていますか・・・・・・・・
ものすごく ユーモラスな大きな木で西アフリカの村の象徴。西アフリカの人達は屋敷のすぐそばでこの木を育て、親しい それでいて 神聖な木。不思議な木です。

小さいときは登りやすく 大きくなると20mを超える巨木にもなり、太さ2mを超える枝を横に広げた様はまさに巨人。夜になると人のように泣くと信じられています。



この大木を会場の中央に設え、この木の周りに、屋敷や大日よけと呼ぶ「おはなし」や「ジャンベ太鼓」を一緒に楽しむ場などがあります。文字を持たぬ世界 「じかに見て、触れ、はなし、伝え合う」体験のなんと面白いことか・・・・

8月3日には西アフリカ マリ国立舞踏団が「西アフリカ おはなし村」を訪れて音楽と踊りを公演。

そのリズムと音楽にみせられ、公演を楽しんだ後 バオバブの木の周りでみんなで総踊りで盛り上がりました。



2003.8.3. 「マリ国立舞踊団のおどりと音楽」の公演を楽しんだあとバオバブの木のまわりで

7.2. 鉄のモニュメント 万博お祭り広場 大屋根の鉄骨

- 2003. 夏 万博記念公園 点描 -

吹田 万博公園にある民族学博物館へ行く道はかつての大阪万国博覧会が開かれた心臓部 太陽の塔が立つ「お祭り広場」があるのですが、覚えていますか・・・

そのお祭り広場の大屋根を支えたパイプ構造の一部が今も健在で、保存されているのをつい最近みつけました。

僕にとっては「鉄鋼材料・溶接技術」の道に入る第一歩。日本がそして鉄鋼業が高度成長の大発展を遂げるスタートでもありました。

パイプでアングルを組み、ボールジョイントでとめ、これを連続して大屋根を作るユニークな構造で広い広場に極

端に柱を少なくした当時では本当に斬新な巨大構造物。

鋼の厚板を管状にしてシーム溶接されたパイプが 1900 本強 ボールジョイントとしてこれらのパイプをとめる鉄球が約 100 個。総重量約 6000 トンの鋼材が使われた。

これらを使って 高さ約 40m の位置に長さ約 290m 幅約 110m 厚さ約 7m の大屋根が架けられ、この大屋根そのものが、日本の成長を示すモニュメントであった。



7.3. 京都 お盆法要の説法より

「戦中派の責任としての最近の世相について」を聞いて

お盆の 15 日 16 日 義母 義兄の初盆 京都で初盆の法要に行ってきました。

お寺でのお盆法要の説法で語られた「最近の軽薄風潮」についての説法に感銘を受けましたので要旨採録。

最近 戦争を知らない世代が過半数を占める時代、国際貢献として自衛隊のイラク派遣が、議論されている。

「軍隊は国を守る」と言うが、今までの歴史の中で「国を守った例はない」

「軍隊組織は自分達の上官を守り、組織を守る」のであって「国を守る」というのは「まやかし」

また イラクへ派遣された若い命が落とす危険について

「日本の国内にいたって 交通事故で落とす命あり。その数に比べれば・・・」とニヤッと笑いながら話す価値判断もできぬ政府高官・リーダーの傲慢さ

「慈悲に満ちた仏の世界を今の罪深い我々シャバの世界では絶対に実現できぬ。シャバの世界では

実現できない事を知りつつも、仏にすがり、助けを借りて仏の世界の実実現を目指し、必死に生きるのが仏教だ」

「日本の国内にいたって 交通事故で落とす命あり。その数に比べれば イラクで・・・」とニヤッと笑いながら話す政府高官の傲慢さには本当に腹が立つ。

日本では リーダーによるこのような「軽薄な議論すり替え」がいたるところで時代の流れをせき止めているのではないか。

久しぶりに聞いた思い切った宗教人の戦争論議や、体制に動じない確信にびっくりするとともに同感・同感とうなずいていました。

気持ちのよい晴天の日々が続き、万博公園の丘ではコスモスが満開。お元気でしょうか・・・・・・遠足でやってきた子供達の華やいだ声が民博「西アフリカ お話し村」に響いて 民博「西アフリカ お話し村」通いも 2ヶ月を越え 元気に続けています。



ゴソゴソしている間にもう 10月も下旬。紅葉の便りが聞かれ、秋深いです。

遅れましたが、やっと遅れていたホームページ改訂することが出来ました。

神戸にかえって 勝手気ままな風来坊の生活。あっという間に 3ヶ月がたっしてしまいましたが元気にすごしています。



大阪吹田 万博公園 にて コスモスと遠足で訪れた子供たちの声が秋晴れの空に響いています 2003.10.5.

色々な方々から ご心配の声を掛けて戴いたり、会合開いていただいたり本当にありがとうございます。出来るだけ出かけて色々な方に会いたいと思っているのですが、根っからのズボラな風来坊 自由な時間があるようで中々うまく使えず、ご無礼お許しください。

9月7日から22日まで 2週間あまり家内と二人でアトランタにいる息子を訪ねてアメリカ珍道中。楽しんできました。息子が言うには「よう こんだけ 勝手な旅行組んできたな・・・」と。

息子の住んでる「アトランタ」そして「トロント」「サンフランシスコ」を勝手気ままな風来坊 walk。

アメリカで一度行きたかったブロードウェイのミュージカル・大リーグの野球・音楽都市ナッシュビルでのカントリーミュージックのライブ コンサート 「Grand Ole Opry」 ツア ご機嫌でした。

ナイアガラの滝・グランドキャニオンのトレイルそしてアトランタのストーン マウンティン・ロックシティ

イ・巨大な鍾乳洞マンモス ケープのトレイル。



アメリカの大自然の大きさにただ唖然として声なしでした。
また、久しぶりにシリコンバレーのインテルも訪ねてきました。

9月11日 「ニューヨークテロによる破壊の日」

アメリカの空港には国歌が流れ、いたるところに半旗。胸にはリボン。
空港での厳しすぎるほどの手荷物・身体検査に誰一人文句も言わず行列を作っている姿と重なって 自由な
国がひとつにまとまっている強さというか そんな筋の通った姿勢に見入っていました。アメリカの利己的
な一面の是非は別にして。



【 「ニューヨーク 国際テロ」が起こった9.11.

この週 アメリカではいたる所で半旗 国歌が流れていました 】

アメリカというと

「合理・効率主義で行動力はあるが利己的・即物的な国。

伝統のないことが短絡的な行動にでるのではないか・・・」

と思ってきましたが、何か考えてきたこととは違った一面を見たような気がしています。

まだまだ ダウンタウンではプアーな人達を多く見ましたが、そこでも、何か日本の冷たい視線とはちがった
ものを感じました。アメリカの大自然の壮大さに触れるとともに「アメリカの社会が大きく変革の舵を切っ
たのか・・・」と感じるアメリカ旅行でした。

ご都合主義でアメリカの物まねしている間にアメリカの方が精神的にも社会全体が強くなっている。

ほんの2週間ばかりですが、日本へ帰ってくるともう浦島太郎。

やたらに日本のクレージさが目についています。

「対米追従」「アメリカ的合理主義・効率経営」等と口々に言っている間に国際的には誰からも見放された
孤児への道 弱者切捨ての競走社会にまっしぐら。 はやく 村社会から脱却して精神的に深い社会への転
換を図らないと・・・。

「アメリカかぶれ」ではありませんが、「見る」と「聞く」とでは大違い。

言葉は分かりませんが、「自分の足で歩くのがイチバンヤ!!」でした。

アメリカできずいたことなど メモリしたので また お教えてください。

2003.10.10. 神戸にて

Mutsu Nakanishi アメリカ旅行の整理の中で

大阪にいた娘家族が札幌に行ってしまうと我が家もさびしくなりましたが、IP電話にして、札幌の孫との会
話を楽しんでいます。家内はせっせとまた宅急便 色んなものを積めています。私も便乗・・・
ホームページ改訂終わったら、札幌へ訪ねる予定です。

時間は自由になったのですが、逆に何にもしない内に時間が過ぎていくような気分 今まで経験したことな

し。
ぼくはズボラで スケジュール決めて 動くこと一番苦手なのですが、やっぱり スケジュール立てておかないと・・・と思いだした今日この頃です。

最後になりましたが、「和鉄の道 たたら探訪」も続ける予定。
長野県佐久町H氏より、詳細な「佐久町 茂来山たたら遺跡」の学術調査報告書を送っていただき、自分の歩いた道の写真と報告書を見比べながら、往時の繁栄をイメージしています。
本当に有難う御座います。
毎度ながら 勝手な事ばかりで申し訳ありませんが お許してください。
懲りずに よろしく。 関西・神戸に来られた時には ご一報ください。



2003.10.20. 神戸にて Mutsu Nakanishi

8.1. 関西で 秋たけなわ 2003 年秋



関西に帰って あっという間に3ヶ月。紅葉の便りが聞かれるこの頃 元気に関西の秋を楽しんでいます。
コスモス咲く大阪民族博物館「西アフリカ おはなし村」へ元気に通っています。
西アフリカのむかしばなしをせっせと聞いています。西アフリカ ジャンベの太鼓は根っからの楽器音痴に加えギッチョで右左わからず、まったくうまくならず。でも いろんな人と会って 愉快的時間を楽しんでいます。是非一度 こんな空気吸うのをお勧め・・・・・・・・・・。

アメリカ行きで実現できなかった山口美祢にも帰り、久しぶりに美祢の仲間にも会えました。
風来坊の気安さ。豪華な屋台と激しい練り合わせで有名な播州の祭りをまじかで見してきました。
若者たちの激しいエネルギーに会社で見てきたものとは違ったイメージを感じています。
その熱気伝えられませんが、デジカメ触っていたら、多くの若者たちに担がれ 激しく舞う獅子の行列「大塩天満宮 毛獅子舞・道中舞」の映像が音とともに取れましたので、写真とともにお見せします。

1. 大阪万博公園 民族博物館 「お話し村」

10月の初めにアフリカからやってきて「西アフリカの昔話」を江口村長とコンビで毎日語っていたアフリカのスタッフ3人が帰りました。
また、新しい企画も加わり、新しい陣容での入館者といっしょになった「西アフリカの昔話会」や「ジャンベの太鼓」の演奏が毎日続いています。
「言葉もわからず、食事を含め全く習慣の違う人たちと本当にコミュニケーションできるのか」と心配でしたが、「ハイ ドーモ ドーモ」と「アジャモ ウソコ〔お元気? ありがとう〕」の二つの言葉だけで 後は身振りで何とか通じ合っています。本当に「異文化」というか いい経験です。
11月24日まで 是非 お寄りください。



民族博物館「西アフリカ お話し村」 10月 点 描

ウンマハーニさん ジュレイハさんに代わり プロフェッサ サイブ氏と江口村長のコンビのおはなし会も始まり、バブパウの木前の大日よけでの「西アフリカ むかしばなし」もまた、違った味わいのお話が楽しめます。

私は 西アフリカのむかしばなしをせつせと聞いてジャンベの太鼓を習って。。。
ジャンベの太鼓は根っからの楽器音痴に加えギッチョで右左わからず、まったくうまくなりません。でも いろんな人と会って 愉快的時間を楽しんでいます。



是非一度 こんな空気吸うのをお勧め・・・・・・・・・・

2. 山口県美祢にも出かけました

気になっていた美祢にも 10月初めに行って来ました。5月以來ほっていた美祢の家の庭は背丈ほどに雑草が茂っていました。肥料も水も貰わず、やせた土地でたくましいものです。

実りの秋 防長路はたわわに実った田圃の畦の輪郭を真っ赤な彼岸花が縁取る美しい風景を期待したのですが、ちょっと遅くともう終わり。かわって コスモスがいたるところで美しい景色を作っていました。また 久しぶりに世話になっている人たちにも会えました。街で顔見知りの顔にであうと本当になつかしく、うれしくなります。



山口 吉敷に陶房を構えられた萩焼の田中先生 今年も日本伝統工芸展(第 50 回)に新しい技法で挑戦され見事入選。私は失礼したのですが、家内が訪ねて歓談。味わいのある先生の萩焼 うれしいかぎり。大阪の巡回展で再会のつもり。

いろんな人の顔が浮かぶのですか、中々訪ねられませんが、みんな元気なのに一安心。山口へ行く楽しみ。一度機会あれば みんな一緒に騒ぎたいものです。

ついでながら 長門湯本温泉の音信川沿いの共同温泉恩湯・礼湯が改装されて綺麗になり、しかも 140 円のまま。お湯はまったりした独特の源泉の湯。街も金子みすずのブームもあってすごくよくなりました。

3. 播州の秋祭り 姫路市 浜の宮・大塩 10.15.



10月 稲刈りが終わると播州の街々では秋祭り。豪華な屋台がでて、獅子舞が舞う。一度その熱気の中に入りたくて

15日 姫路白浜の宮 松原八幡宮の秋祭り(灘のけんか祭りとして 豪華な屋台の練り合わせで有名) と姫路大塩 大塩天満宮秋祭りでの獅子舞行列「毛獅子の道中舞」を見てきました。お祭りといえば大勢の男達に囲まれた屋台や地車が練り歩く姿に体が熱くなって………でしたが、大塩の獅子舞があんなに迫力があるなど思いもよらず、その迫力屋台以上でした。

若者たちの激しいエネルギーに会社で見てきたものとは違ったイメージを感じています。その熱気伝えられませんが、デジカメ触っていたら、多くの若者たちに担がれ 激しく舞う獅子の行列「大塩天満宮 毛獅子舞・道中舞」の映像が音とともに取れましたので、写真とともにお見せします。写真だけですが………祭りはやっぱり現場に行かないと迫力伝わらずです。



灘のけんか祭り 宮入 姫路市浜の宮 松原八幡宮 2003.10.15.



大塩天満宮 毛獅子舞 宮入「道中舞」 姫路市大塩 大塩天満宮 2003.10.15.

8.2. 「久しぶりのアメリカで」風来坊

2003.9.7. ~ 9.22.



ナンヤカヤ アメリカで見聞きしたこと思い浮かぶまま風来坊的に書き留め、

『 「久しぶりのアメリカで」風来坊 』

として 別項にまとめました。

独りよがりですが、久しぶりにアメリカに出かけて感じたことです。

- | | | |
|-----|--------------------|------------------------|
| 1-1 | アメリカの大自然 | 地の果てまで その雄大さに声もせず |
| 1-2 | アメリカのセキュリティ 【1】 | 空港で |
| 1-3 | アメリカのファースト フード | そして オープンテラス |
| 2-1 | 地下鉄の中で | ハンディキャップを守る思いやりと絆 |
| 2-2 | サンフランシスコで | 「不便を承知で高速道路建設を放棄」したという |
| 2-3 | アメリカのセキュリティ【2】 | シリコン バレー インテル博物館で |
| 2-4 | アメリカで垣間見たインターネット社会 | |

8.3. 山口市吉敷の「陶房葉月」に寄せていただいて 2003.10.10

第50回日本伝統工芸展に今年も入選された田中講平先生



山口市吉敷に陶房を構えられた萩焼の田中先生 今年も日本伝統工芸展(第50回)に新しい技法で挑戦され見事入選。

私は失礼したのですが、家内が訪ねて田中先生ご夫妻と歓談。

先生の陶芸教室で世話になった家内。沢山の新しい作品も見せていただいて感激して帰りました。

味わいのある先生の新しい萩焼が どんどん世に出て行かれるのを聞くにつけ 本当にうれしいかぎり。

大阪の巡回展で先生の作品との再会 楽しみにしています。

田中先生の陶房葉月 湯田温泉から秋芳洞・美祢へ抜ける国道を少し入った山口の名峰「鳳凰山」の山裾 竹林に囲まれた丘にあり。 山口市の湯田へ出向かれたら一度是非お尋ねください。お勧めです。



民博「西アフリカ おはなし村」閉幕

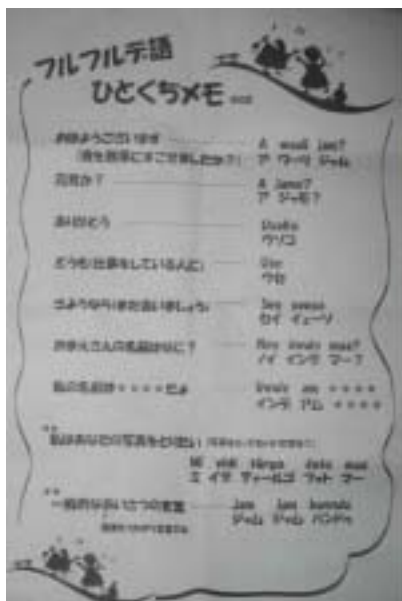
『アジャモ !! ウソコ !! (お元気ですか!! ありがとう !!)』



まだ 紅葉が残り、師走らしくない12月が始まりました。

新緑の7月から紅葉・落ち葉の季節まで4ヶ月通い続けた吹田民博特別展「西アフリカ おはなし村」も月25日 無事完了。 入場者数4万人弱。あっという間でした。

栈敷で語られるフルベの昔話 耳をそばだてて聞いていると 本当にゆつたりとした気分になりました。



「小さなおはなし 小さなおはなし.....」でボソボソはじまるとついつい引き込まれていって.....。なにかほのぼのするゆつたりとした楽しい空間で、中々得がたい時間。ぼくも ひとつ二つ 西アフリカのお話 覚えました。

アフリカ カメルーンの村からやってきたスタッフは来るのに2週間 帰る時も村まで1週間。
でも家に帰り着いた次の日から電話はつながっている。
ビックリもしましたが、まだまだ アフリカについては知らなすぎますね。
世界考える時は良く考えないといかんと思いました。

いろんなものに興味示して でもゆっくりと みんなアフリカ時間・・・・・・・・。
どっちがハッピーなのか解りませんが、アフリカの現実も厳しい。
でも また会いたい人達です。。



西アフリカ おはなし村 ふれあいコンサート 2003.12.15.

先日 家内の友達のお医者さんがアメリカからやってきて 一晩お互いにワイワイやってかえったのですが・・・・ その折に 「アメリカの研究で『こころ』の位置が発見された」という。

「頭や胸でない。ちょうど 首から体に行くのどの下あたりや・・・・ 魚はえらのところや・・・・」という。

「そんな ほんまかいな・・・・」と笑ったのですが、後で考えてみると不思議。

魚に「こころ」あるのかいな ?????? 「こころ」てなんや・・・・

そういえば 牛や魚に音楽聴かしたらストレス解消やと言うし、大木の話し声聞くというのもあるし・・・・

ある大学の先生に言うに「わしのこころは腹や 腹で考えるのや」と
ぼくは 「こころ」とは「人間にしかない情」 こころの中はパターン化できないしろものと思っていたのですが・・・・

「鬼は笑う」が「妖怪はわらわない。 それは人間やないからや・・・・」と。

「笑い」と「こころ」はつながるのか・・・そういえば「腹から笑う」といいますが・・・

「こころ」がほかの動物にあるなしは別にして、最近のロボットは二足歩行できるだけでなく、簡単な会話も動作もこなす。「癒しのペット」としてロボットが生まれつつある。

この「こころ」の中味が研究されれば 人もロボットも変わらなくなる。
こんな事考えていると 現代人は逆にロボット化しつつあるのではないか・・・

人の幸福感なんて こんなところにあるのでは・・・と思っています。
アフリカ人や最近の世相見ていると つくづくそんな感じ
でも 「こころ」の中がもっと判ってくれば アルツハイマーやボケ も解消されるかも知れぬ。
中味が判るようになればと思う反面 そんなもん わからんほうがええ・・・との気持ちと五分五分
「暇になると るくな事しか考えへん・・・」と。

色々あった 2003 年もあとわずか
西アフリカ おはなし村 のみんなから貰った元気

『 アジャモ !! ウソコ !! (お元気ですか!! ありがとう !!) 』
元気に でも 少し 変わっても見たい 来年へ

寒くなりますが、ご自愛ください。

民博 「西アフリカ おはなし村」が終わって ほっとして色々頭に浮かぶまま

2003.12.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

9.1. 映画「金子みすず」を観ました

ちょうど 「やさしさ・暖かさの詩人」といわれている「金子みすず」の映画を神戸で見ました。
昨年 山口で製作された長門仙崎の薄幸の詩人「金子みすず」の映画会が 神戸で一日だけ開かれているの
を見つけ 先日 行きました。

本屋に沢山の詩集が並び、テレビドラマになったり、長門の街や湯本温泉に映画制作の旗がはためいて、
湯本温泉の共同湯も二つになって綺麗になったりで、「みすずブーム」やと知っていたのですが…………。
神戸の三宮の平日の午後 ビックリしたのですが、ホール女性が大半でぎっしり満員。
映画もこれ「金子みすず」のファンそのものの作り方。思い入れたっぷりの映画。
やっぱり ブーム凄いですね。

でも 私も「みすず」の詩が好きで満足でした。
「金子みすず」その人には本当に厳しい人生だったようですが、あのやさしさはどこから出てくるのか 今
も不思議です。

お茶して今年初頭に観た「中島潔が描く金子みすず」展の童画集を眺めながら、彼女の詩を楽しんでいます。
「西アフリカ おはなし村」も「金子みすず」の詩の世界も 全く異質ですが、ゆったのとした時間の流れ
その場に力強さはないけれど、感性の強さ。
今後の時代に必要な忘れ去ってはならない極のようにも感じているのですが…………。
「まあ、 元気に生き活きと・・・」です。

9.2. 鉄のモニュメント 「北海道開拓百年 記念塔」

札幌市野幌 野幌森林公園 Walk 2003.10.25.



10月末に札幌に行った娘一家を家内と訪ねて、一足先に秋を満喫してきました。

北海道の秋 やっぱ、関西と違って色鮮やかで綺麗でした。

今年は暖かくて関西ではあまり綺麗な紅葉見られませんが、寒暖の差の大きい北海道 街の中でも本当に鮮やかで綺麗な紅葉でした。



札幌市 野幌森林公園



札幌 藻岩山



支笏湖



幼稚園に行きはじめた孫と久しぶりに遊んで 札幌の街の西 紅葉の藻岩山東の野幌の丘の森の中歩いてきました。

久しぶりの札幌 ビール園 北大のポプラ並木にも行って 小樽そして石狩川の河口にも行ってきました。

十数年ぶりの大学時代の友達にも会って やっぱ変わってませんね

藻岩山の展望台では東京・柏でお世話になった知人に偶然 「遠く離れた札幌で・・・何で」と。民博でも偶然知人に会いましたが・・・

また、知らずに行った野幌の森林公園に青空に先端を突き上げている北海道開拓記念塔 昭和45年完成の無塗装耐候性鋼板で出来た鉄のモニュメント。この年 大阪では万博 西と東でその後の高度成長を支えた鉄のモニュメント。



札幌市の東郊外 野幌森林公園 鉄のモニュメント 「北海道 開拓 100 年記念塔」

まあ 偶然とは言いながら 本当に ピンポイントの不思議感じています。

でも 10人友人いれば 順番に繰り寄せていけばほんの幾代かでみんな友達です。

本当に愉快的な北海道 今度は「流水」見に行く予定。



苦小牧市美沢 2003.10.28.
乳牛やサラブレッドの牧場が広がる勇払原野

苦小牧市美沢 勇払原野の秋 2003.10.28.



千歳空港の近く 勇払原野へ行った時に見かけた牧場。
本当に広い牧草地が広がる丘陵地 生のうまい牛乳2杯もおかわり。
この写真 ちょっとサイロが傾いていて 佐伯祐三バリの絵のようで・・・・・・
気にいっています。

9.3. 「和鉄」探訪 walk 豊橋市 高師が原 豊橋市 高師台 探訪 2003.11.12.
第三の和鉄精練の原料 ??? 「高師小僧」知っていますか



「雨上がりの丘陵地 豊橋市高師が原では 土砂が洗い流され「高師小僧」が頭を並べて立ち並ぶ??？」
と読んで、うずうずして行って来ました。
豊橋は日本を走る中央構造線が走り、近くで糸魚川ー静岡と交差する地殻変動の激しい土地。
その地殻変動がこの「高師小僧」をもたらしたと・・・・・・
また 織部や瀬戸・志野などの陶器の「褐黒・褐赤」 これらの陶器の下絵顔料この地方の「高師小僧」

と同種の「鬼板」などの褐鉄鉱を砕いて 顔料として用いたと・・・

そして この台地には「鬼」そして「片目の神」伝承がある。

これらがそろって もう そこは『IRON ROAD』の通った「和鉄の故郷」

11月 雨上がりの晴れ間 この「高師小僧」に会いに豊橋へいってきました。

また 帰りに美濃側の伊吹山麓 大垣・垂井の井吹の里まで足を伸ばしましたが、井吹についた時にはもう真っ暗。また 別途紹介します。

兵庫県佐用 大撫山



また、 随分前からチョコチョコ山登りや砂鉄探しに出かけていた兵庫・岡山県境周辺。

姫路の県立歴史民俗博物館で見つけた「播磨風土記」に「(鹿庭山)四面有十二谷 皆生鉄也」の記述のある佐用町「大撫山」ならびに周辺の製鉄遺跡に11月14日に行きました。大撫山山頂には県立北播磨天文台が建ち来年にはさらにも直径2メートルの日本一のレンズがつく望遠鏡が建設中。山麓の林の中に埋もれた古代の製鉄遺跡(永谷池遺跡)ではその林の中でスラグのかけらを見つけました。

製鉄発祥伝承のある千種の南 千種川・佐用川沿いの佐用

製鉄遺跡群 まだ纏めていませんが そのうちにまとめます。



古代の製鉄遺跡群が散在する 兵庫県佐用郡大撫山と千種川

9.4. 民博 西アフリカお話し村からの贈り物

2003.11.25.



新緑の7月から紅葉・落ち葉の季節まで4ヶ月通い続けた吹田民博特別展「西アフリカ おはなし村」も無事完了。入場者数4万人弱。あっという間でした。時間に縛られない自由人の世界。栈敷で語られるフルベの昔話聞いてると本当に現実ばなれしたゆつたりとした気分になりました。

「小さなおはなし 小さなおはなし……」でボソボソはじまるとついつい引き込まれていって……。なにかほのぼのするゆつたりとした楽しい空間で、中々得がたい時間。ぼくも ひとつ二つ 西アフリカのお話語れると思います。



「小さなおはなし おはなし・」ではじまるおはなしが「静の時間」。

一方 思わず体をゆすらずにおれない「ジャンベ」太鼓の「動の時間」

ジャンベにトライした人もそれを聞いている人もみんな手を叩き、体を揺らせてどこかでまた こんな空間実現できればいいですね。

自分なりにこの4ヶ月 このおはなし村に通って 感じた事下記に雑文ですが、まとめました。

西アフリカ おはなし村からの贈り物

現代人の忘れ物を届けてくれた「西アフリカ おはなし村」からの贈り物。

自然の中で語られる「むかしばなし」の会や一人静かに歩く山里の爽快感 そして スポーツに集中した後の爽快感などにも通じるのかも知れない。

でも人と人が一気に通じ合える空間なんてそうそうないと思っています。

新たな活力を得て、今後も こんな空間が展開されれば・・・と思っています。

このおはなし村では沢山のボランティアの人たちが住人の中心。

「おはなし」「音楽・ジャンベ」「こども会」そして訪れる人たちの案内と。。

村そのものの運営に参画



西アフリカ おはなし村 ふれあいコンサート

2003.12.15.

ボランティアというと何か補助的な印象と意識が強い中、活動の中心としてそれぞれが 相互にコラボレートして ほんとに素晴らしい力が出て 楽しい空間が出来ていたと今 感じています。

「語りあい 伝えあい ふれあい」

「アジャモ(お元気ですか)」「ウソコ(ありがとう)」

一歩踏み込めば それぞれが「生き生き」と・・・その第一歩の認識の重要さ

「西アフリカ おはなし村」が終わって 「西アフリカ おはなし村」の贈り物をそんな風に考えています。

Merry Christmas !! 2003.12.22.

殺伐とした雰囲気の中 一年が終わろうとしています。

毎日 忙しく走りまわっておられる事でしょう。

やっぱり 今年もクリスマス カード作りしましたので

今年のクリスマス カード 送ります。



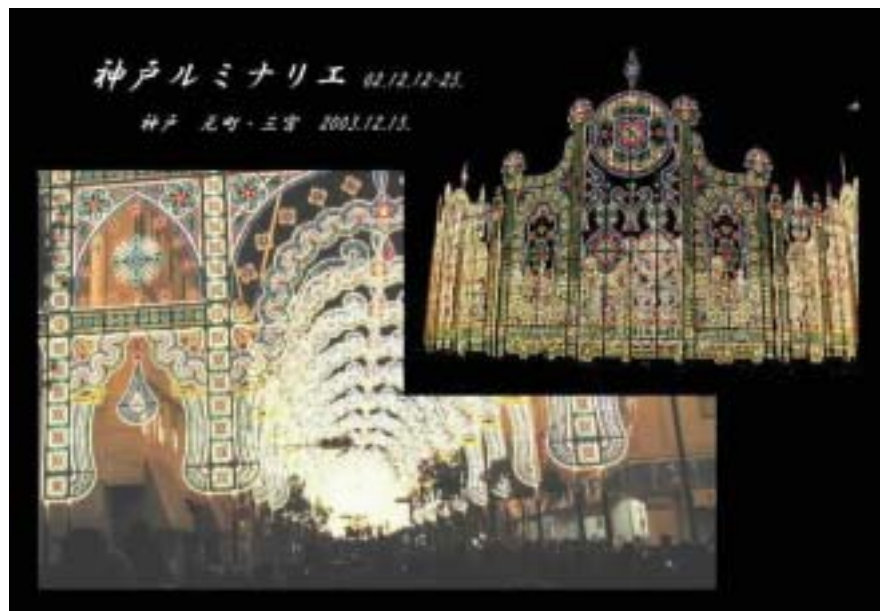
なにか 面白い事ありませんか・・・
とメールくるのですが、「特に今はないなあ・・・」が最近の返事

神戸ではルミナリエが始まり、先日家内と二人 夜の元町・北野坂界限を歩きました。

ルミナリエは最初の時ほどの感激はありませんが、やっぱり 光の中を歩くと素晴らしいですね

真っ暗な瓦礫の中を とぼとぼ 須磨寺の道を登っていった時

そして パッとルミナリエの光が街一杯に灯った時の美しさなど思い返しています



今年はまだ早々と店じまい。

家でのんびり メール書いています。

この時期 クリスマスカード取り出し どこで なにしていたのか・・・と思い起こしながらくぼさっと酒を飲むのが恒例。

「山と渓谷」見ていたら 1年間の山行 スケジュール立ててる人たちの特集
でも計画たてたら 次の日から計画倒れの風来坊
ゆきあたりばったりですが、いろんなところで 仲間の活動 耳に入ってきて頼もしい限りです。
フリーになれば あれも これも・・・と書いていましたが、中々進まぬのにビックリ
やっぱり 自分でスケジュールきっちり作って 追い込んでいかないと・・・と反省しています。



我が家の最近の周辺 山の中から高速道路・マンションが立ち並ぶ街になりました。

本年は色々 お世話になりました

2003.12.22. 神戸にて 中西

2003年 四季 折々 Mutsu

【完】